

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎ 049-227-3001 (FAX兼用) ホームページ <https://hatoyama.info/>

2022年度の活動がスタートしました

お待たせしました。

2022年度の活動を開始します。

昨年末に「熊井の森通信」第10号を発行して丸3カ月のご無沙汰でした。

1月24日から1週間、川越アトレの武州ガスギャラリーで、活動報告パネル展示。2月5日から約1カ月間、写真教

室のあった泉井交流体験館で「熊井の森秋の味覚満喫体験参加者の写真作品展」を開催。2月20日に写真学校参加者ミーティング、3月23日に埼玉県NPO活動促進助成事業報告会でのzoom発表。そして、熊井の森トラスト山林の散策トレイルの丸太橋掛けと、はと麦栽培のた

めの畑作り。年度末を迎えての決算処理、及び次年度活動計画づくりなどに追われていました。

今年度分の各種助成金はすべてOKでした。今年度も楽しく、元気いっぱい頑張ります。今年度もよろしくお願いたします。(愛場)

新規の試み 「里山の風景」も対象に 写真学校を開校

今年度の写真学校は、2回開催した参加者ミーティングの結果を踏まえ、これまでとは少し趣向を変え、生き物と「里山の風景」撮影も対象にした新しい試みです。

<今年度企画のポイント>

1. 年5回開催
2. 参加料 1500円(高校生以上)
小人(中学生以下) 無料
3. ラップトップパソコンを使った授業を予定。こちらでも用意します。
4. 第3回目開催(8月20日)の写真学校は、「夏休み子ども特別写真教室」として、子どもの参加を積極的に呼びかけます。
5. 写真学校開校のお知らせは、鳩山町教育委員会の協力で各学校に配布されます。
6. 鳩山町政40周年記念事業として、鳩山ニュータウンふれあいセンター3階の2部屋を借り切って開催する「鳩山satoyama写真展」(仮称)の開催日が10月8~10日の3日間に決定しました。そこで皆さんの作品展示をします。写真展実行委員をこれから募集します。

具体的にどうやるかは第1回写真学校で皆さんと話し合っ決めていきたいと思ひます。皆様の参加をお待ちしています。

熊井の森写真学校《第6期受講者募集》

人と自然が織りなす

里山の風景

と生き物たちを撮ろう

虫や植物、野鳥に詳しいネイチャーフォトグラファーから、里山の風景や生き物たちの写真の撮り方を四季を通して、少人数で教わります。



講師◎
三森典彰氏
ネイチャーフォトグラファー
東京環境工科専門学校講師



公益財団法人サイサン環境保全基金助成事業 後援◎鳩山町

開催日◎第1回 **4月16日**(土)

集合場所◎泉井交流体験館

TEL049-298-8899
亀井小学校横 鳩山町泉井交流体験エリア

集合時間◎午前9時集合~午後3時解散
(雨天決行)

お昼休みあり/お弁当持参/午前中のみ参加可

各回定員 20人 **事前に参加申し込みを**
大人(高校生以上) **1500円**
小人(中学生以下) **無料**

今後のスケジュール

- 第2回/6月18日(土)
- 第3回/8月20日(土)
- 第4回/10月22日(土)
- 第5回/1月28日(土)

主催◎NPO法人はとやま環境フォーラム/熊井の森トラスト基金

問い合わせ・参加申し込み先◎携帯/090-2457-8513(愛場)
◎電話/049-227-3001(FAX兼用留守電あり)
◎メール/kawasemi3001@gmail.com



活動報告



■埼玉県共助社会づくり推進助成事業報告会

3月23日(水)PM1:30より、埼玉県共助社会づくり課主催で、2021年度に埼玉県NPO基金助成を受けた各団体からの活動報告会がありました。全16団体が5分間ずつZOOMウェビナーを利用してパネラーが活動概要を発表するもので、当団体は1番目の報告でした。

発表は当団体会員の嵯峨千代美さんにお願しました。イベント会場の熊井の森の特徴やイベント当日の参加者数(大人42人、子ども23人、居住先内わけ、地元生産者の会場での説明の様子などをひと通り報告し、最後に「今回の事業の成果」として、「都市近郊の里山は、行楽先として人気があり、里山の自然の魅力や、近郊果樹園の収穫体験の魅力は、確実に訴求力(そきゅうりょく)があることが、私たちや、地元の生産者にも実感として、再確認できたことは大きかった。今回の経験をともに里山エコツアープランをさらに充実させ、里山保全と地域の活性化に貢献できるように、楽しみながら、今後も活動を続けていきたい」と締めくくりました。

選考委員からは「生産者自身が子どもの頃、稲刈りの時期になると学校は農繁休校になり、手伝いの合間、おやつに柿を食べたという思い出を語っていて、当時の子どもたちの暮らしびりがうかがえてよかった」との講評がありました。

■トラスト5・6号山林散策路に丸太の木橋架け



3月16日(水)、急きよ、石場沼の横のトラスト5・6号山林に向かう散策路の丸太で橋の架け替え作業をしました。前から橋はあったのですが、ダメになっていたもので、そばに伐採してあった杉の丸太で架け替えました。作業参加者は4人。作業の後、蜂蜜をつくっている金子さんと一緒に林の中を散策し、春の息吹をたっぷり感じてきました。

■「おしゃべりカフェ」でハト麦選別作業



3月17日(木)、かわせみハウスで毎週木曜日にやっている「おしゃべりカフェ」に来られた方に、「もし良かったら、おしゃべりの合間にハト麦の殻のしっぽ採り作業を手伝っていただけませんか」とお願いし、5人の方にお手伝いいただきました。この作業はなかなか大変で、一粒づつ手作業で、実が白くなったものをより分けたり、

実の殻に付いている小枝をむいたりという手間のかかる工程が必須なんです。収穫したハト麦を脱穀機「とうみ」にかければどこまで取れるのか。難題発覚です。どなたか解決策をご存知でしたら教えてください。

■「SATOYAMA自然学校」開校日程決定

【熊井学創生に向けて】連続公開講座

第1回講座「熊井の森で里山の暮らしを知ろう」5月22日

講師：中澤利雄

鳩山町生まれ 元生越小学校長 植物分類学会会員

第2回講座「鳩山窯跡群が語る里山の暮らし」8月28日

講師：飯塚光正

鳩山町教育委員会事務局文化財保護・町史担当

第3回講座「SDGs鳩山版と熊井学」10月30日

講師：阿部治 立教大学名誉教授

中澤さんは、現在、東松山市の自然学習教育にも関わっておられ、おとな・こどものいずれにも合わせた話しをしていただけそうで、楽しみです。第2回講座の講師は当初、手島英美子(鳩山町生涯学習課学芸員)さんと企画を詰めていましたが、退職されることがわかり、代わりに飯塚さんにバトンタッチしていただきました。

この企画は、秋に開催する「鳩山satoyama写真展——人と自然が織りなす里山の風景と生きものたち」ともリンクしています。皆様方の参加ご協力をよろしくお願いします。

<お知らせ>

◎2022年度熊井の森トラスト活動計画

4月の理事会と5月の総会で事業計画を確定後、今年度のアクションプログラムは次号「通信」に掲載します。

◎かわせみハウスに本格的な複合コピー機を導入

複合コピー機の入れ替えの必要があり、富士フィルム製複合コピー機Apeos/c2570を導入しました。コロナ禍でリモートワークが増え、都心のオフィスに複合機を置く需要が減ったらしく、この手の複合機が大量に出回っているようです。デザイン事務所でよく使われていて、カラーの色味がいいとか。チラシやポスター制作などにも使えそうで、これからの活躍を期待しています。

